

オプトアウト文書  
患者様とご家族の方のお知らせ

「中津市立中津市民病院における人工肛門（ストーマ）造設患者の  
トラブル時の受診状況の把握と今後の課題」  
研究へのご協力依頼

目的：人工肛門（ストーマ）造設患者のトラブル時の受診状況を把握し  
外来での看護ケア充実を図る

なお、本研究は中津市立中津市民病院の倫理委員会での承認を得ています。

研究場所：中津市立中津市民病院 看護部 外来。

研究時期：倫理委員会承認日より2019年3月31日まで。

研究対象：電子カルテより2016年4月～2018年3月の中津市立中津市民  
病院で人工肛門（ストーマ）造設術を受けた患者様を対象に、  
入院から退院後の受診状況と内容について下記の内容にて情報  
収集をします。

- (1) 患者様の背景：性別・年齢・手術後の年数
- (2) キーパーソン：誰が主に交換を行っているのか  
例) 自分自身で交換している／家族が交換している／社会サービスが介入し、  
交換している／家族が交換していたが、自分でしなければならなくなった
- (3) 疾患名：病名と患者様の状況  
例) 病名：大腸癌や腸穿孔など  
患者様の状況：緊急での手術、外来通院しながら手術日を選択したのか
- (4) 受診時の理由：何の目的で病院受診したのか  
例) 退院後初めての外来受診、定期的な予約受診、予約受診以外
- (5) 人工肛門（ストーマ）造設術にて入院から退院までの、医師と看護師が  
記載した患者様の記録
- (6) 当院で人工肛門（ストーマ）造設術を行った患者様の人数と、人工  
肛門（ストーマ）に対して対応を求めて受診してきた患者様の人数

患者名など個人情報扱いません。研究者も個人を特定することはできません。  
本研究は、当院看護部主催の院内看護研究学会にて発表することになりますが、  
その際も同じく、個人を特定することができる情報は記載されません。

本研究で得たデータは全て鍵のかかる部屋へ保管します。また、電子媒体はUSBにロックパスワード設定のうえ保存し鍵のかかる部屋で保管します。情報は連結可能匿名化となり、いかなる形でも院外への持ち出しはありません。研究終了後は3年間保管した後、紙媒体はシュレッダー、電子媒体は完全破棄します。

この件に関して、ご自身のデータを使ってほしくないとのこと希望があれば、研究代表者（中津市立中津市民病院 看護部外来）の今仁晴美までお問い合わせ下さい。0979-22-2480（病院代表）：平日9時-17時。

2018年10月24日

中津市立中津市民病院

役職 看護師

氏名 今仁晴美

（研究代表者）同上

（2018年9月18日改訂）